



My
MIRACLE

… 私の小さな奇跡 …

美湖 純子



愛はいつでも旬の果実で、
誰の手にも届く所に
あるのです。

Mother Teresa
(マザー・テレサ)

愛に見つけられて

劣等感の塊……。私の幼少時代は、そんな言葉がびったりだった。

私は小さいときから人見知りが激しくて、友達を作ることが出来なかった。いつも2つ上の姉にくっついていて、1年生になったとき、母は、私が学校で友達がなくて一人ぼっちでいることが多いと知って、クラスののりこちゃんの家にかステラをもっていった。「うちの純子と友達になってください」と頼みに。

カステラの効果があったのか、のりこちゃんはある日から、私と一緒にいる

ようになった。というより、どこに行くにも、私がのり子ちゃんの後に金魚のフンのように、くっついていて。友達というより、親分と子分の関係。何をするにも、のり子ちゃんに聞かないとだめだった。トイレに行くことさえ、のり子ちゃんに、行ってもいいか聞いた。

気が弱くて、何のとりえもない私は、自分でもつまらない人間だなーと思って、自分が大嫌いだったし、こんな私のことを好きになってくれる人は誰もいないと思っていた。

そんな私が、母に連れられて、教会へ行くことになった。姉と一緒に教会学校へ行くようになり、聖書を買って

もらった。

6年生になったある日、一人で部屋にいて、聖書を読んでいて。その時読んでいた聖書の言葉が、突然、私の心にズンと来た。「あなたはわたしの目には高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」と。神さまがこんなちっぽけで、気が弱く、何のとりえもない私のことを、高価で尊いと言っておられる。誰も好きになってくれないと思っていた、こんな私に、「愛している」と語りかけてくださっている。

その時、不思議にその言葉が私を捕え、このままの私が受け入れられ、愛されていると、信じる事が出来た。

神さまの愛に出会ってから、私は少しずつ変わり始めた。それまでは、自信がなくて、傷つきたくないから、自分の殻の中に閉じこもっていたけれど、「このままの私でいいんだ。そのまま愛されている」ということがわかって、自由になった。劣等感から解放されて、自分から他の人に話しかけることも出来るようになった。

たとえ、人間関係で傷ついても、戻る場所がある。神さまが、そのままの私を愛で包んでくださっているのだから。

私は少しずつ、自分を愛すること、そのままの私を受け入れることを学んだ。

今では、日本のみならず、アメリカにも、色々なところに友達がいる。自分の家

を解放して、パーティーをしたり、お客さんと呼んだりするのが大好きになった。

もし、小さいとき、神さまに出会わなかったら、私の人生は、とても暗く、さびしかっただろうと思う。

生ける神と出会い、神の愛を体験して生きることは、こんなにも素晴らしいことだと、喜びをかみしめている。

素晴らしい可能性

想像してみてください。凍った湖のほとりにいると。足にはスケート靴を履いている。美しく照り輝く広い湖を思いっきり滑ってみたい。自由に飛び回ってみたい。でも、不安になってしまう。「氷はどれくらいの厚さだろう？安全かな？私の体重でも大丈夫かな？割れてしまうかもしれない。」

不安が心をよぎり、湖のほとりで、寒さのなか、氷を眺める。

でも、しばらくたって、片足を伸ばしてみる。氷の厚さを確かめながら。そして、そっと湖の上に立ってみる。少し歩いて、表面をトントンと踏んでみる。そ

して、氷の上をなめらかに滑り、微笑む。ついに思いっきり滑って、新鮮な空気を吸い込み、笑う。

これは、二つの生き方を表している。一つは、寒さの中、疑いと不安を抱く人生。素晴らしいものを見逃してしまう。もう一つは、疑いから自由になって、翼を広げて天空の広がりを舞う人生。

私たち一人ひとりにとって、最も大切なことは、「神をどうみるかだ」と言われている。私たちは、神を考えると、疑いと恐れを持ち、遠い存在として考えるだろうか？それとも、信頼と開かれた心で考えるだろうか？

今まであなたは、神についてほとんど考えたことがないかもしれない。

でも、もし、神が存在され、良いお方であるなら、素晴らしいことだと思わない？ そして、あなたが何も心配しなくて良いなら、すごいことじゃない？ 人生でどんなことが起きても、最後には、それが良いこと、素晴らしいことになるわかっていたら。

神が、すべてのことを最善にしてくださいとしたりしたら、どうだろう？ 神が、最悪のことを最善に変える力があるとしたら？ そして、神が、あなたの味方であるということに、気づき始めたら、どうなる？

今、この神を知ることができたら？ ただ理解するだけではなく、友達や恋人以上に神を深く知ることができたら、どう？ あなたが神のものとなり、神があなたのものになるなら？ そうなりたいと思う？ 今まで歩んできた人生よりも、もっともっと素晴らしいものがあるのではないかと、心と思いを開いてみない？

それとも、人生はこんなものだとして諦めて、湖のほとりに立っている？

ここで質問。

心を開いて、一歩踏み出しますか？
もしそうしたいなら、それはいつ？

今、踏み出すのはどうですか？

この小冊子をあなたに手渡してくれた人に、話してみてください。ずっと求めていたものを見出す旅に出るチャンスを見逃さないで。日々の生活以上の人生、広く、自由に舞う、冒険を始めませんか？

Concept: NewDayToDay
Design: New Life Ministries
Story: 美湖純子

Copyright © 2017 NewDayToDay
Printed in Japan



<http://www.newdaytoday.net/miracle>

